

令和3年度

鈴鹿市子ども・子育て支援施策の実施状況について
(点検・評価)

令和4年6月30日

鈴鹿市子ども政策部子ども政策課

1 第2期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画について

本計画は、子ども・子育て支援法第61条第1項の規定に基づき、幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に提供するため、令和2年3月に策定したものです。

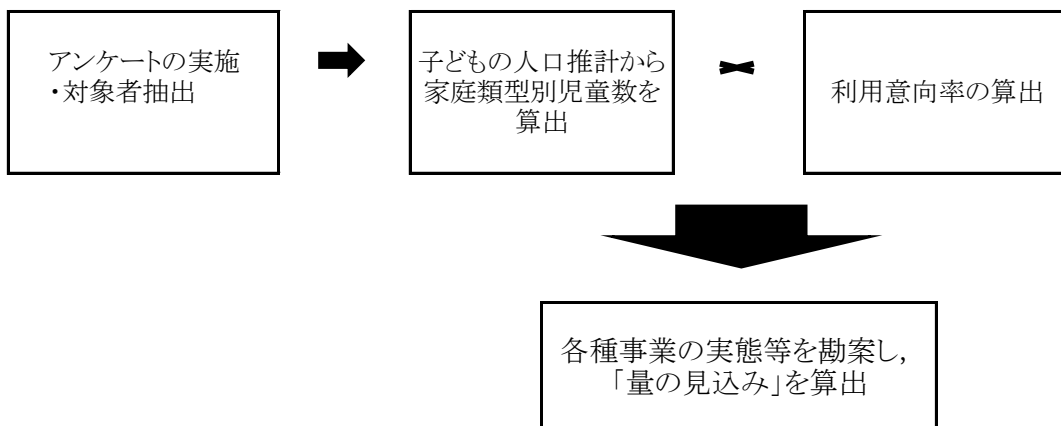
また、本計画に掲げる施策の推進を図るため、計画の実施状況について意見聴取を行い、計画的な進行管理と施策の改善を図ります。

本市では、市域全体を提供区域とし、経過期間である5年間の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」を定めています。

- ◆ 基本理念 鈴鹿で育つ、鈴鹿の未来
～未来を担う子どもたちの健やかな育ちをめざして～

基 本 目 標	施 策 目 標
すべての子育て家庭への支援の充実	家庭における子育てへの支援
	ひとり親家庭の子育てへの支援
	支援の必要な子どもと家庭への途切れのない支援
	外国人の家庭への子育て支援
	働きながら子育てする家庭への支援
	子育て家庭を支える相談・情報提供の充実
	子どもの貧困に対する支援
子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	教育・学習による子どもの成長への支援
	地域における交流等の充実
	子ども自身の声を聞く相談の充実
	児童虐待防止対策の充実
親と子の健康づくりの推進	健康な子育てへの支援
	子どもの健康のための支援
安心して子育てができる地域環境づくりの推進	安全・安心な子育て環境づくり
	地域における子育て支援の充実
	仕事と生活の調和の実現

- ◆ 「量の見込み」の設定



※ 「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」(内閣府)に基づく。

2 教育・保育事業

(1) 令和3年度の実施体制

公立幼稚園	11園(うち2園は休園)
公私立保育所(園)	36園 (公立10園, 私立26園)
認定こども園	6園 (私立6園)
私立幼稚園(未移行)	6園 (私立6園)

(2) 入所(園)児数の状況(R2・R3)

支給認定区分		令和2年度				
		1号認定	2号認定(3～5歳)		3号認定	
		3～5歳	教育ニーズ	保育ニーズ	0歳	1, 2歳
A 量の見込み		1,724	496	2,609	396	1,476
B 確保方策		2,614	496	2,850	428	1,612
C 差引(B-A)		890	0	241	32	136
D 実績値 (入園児数)	公立幼稚園	404	2			
	公立保育所			681	60	330
	私立保育園			1,918	310	1,078
	認定こども園	177	50	261	42	125
	未移行の 私立幼稚園	994	336			
小計		1,575	388	2,860	412	1,533
E 差引(A-D)		149	108	▲ 251	▲ 16	▲ 57
F 差引(B-D)		1,039	108	▲ 10	16	79

実績値 各年度3月1日現在

支給認定区分		令和3年度				
		1号認定	2号認定(3～5歳)		3号認定	
		3～5歳	教育ニーズ	保育ニーズ	0歳	1, 2歳
A 量の見込み		1,643	473	2,486	389	1,443
B 確保方策		2,637	473	2,850	428	1,612
C 差引(B-A)		994	0	0	39	169
D 実績値 (入園児数)	公立幼稚園	291	4			
	公立保育所			641	59	356
	私立保育園			1,841	313	1,031
	認定こども園	176	52	287	41	192
	未移行の 私立幼稚園	997	311			
小計		1,464	367	2,769	413	1,579
E 差引(A-D)		179	106	▲ 283	▲ 24	▲ 136
F 差引(B-D)		1,173	106	81	15	33

※ 広域受託含む

(実績内訳)

R3年度入所(在園)児童数(クラス年齢)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1号認定	485	487	488	492	491	498	505	513
2号認定	2,775	2,779	2,781	2,787	2,790	2,787	2,791	2,785
3号認定	1,702	1,792	1,825	1,862	1,893	1,917	1,938	1,949
未移行幼稚園	1,220	1,226	1,252	1,258	1,251	1,280	1,289	1,294
計	6,182	6,284	6,346	6,399	6,425	6,482	6,523	6,541

区分	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	515	515	523	523	6,035
2号認定	2,784	2,782	2,774	2,769	33,384
3号認定	1,954	1,972	1,982	1,992	22,778
未移行幼稚園	1,299	1,305	1,306	1,308	15,288
計	6,552	6,574	6,585	6,592	77,485

※広域受託含む

(3) 今後の方向性

本市においても少子化が進行しており、1号、2号認定(3～5歳)の入園児童数は前年を下回りました。

これに対して、元々各年齢に対する利用率が低い3号認定(0～2歳)については、子どもの数は減っているに関わらず、入園児童数が増加しました。1～2歳児の需要については、今後数年は微増することが予測されます。

全国的には令和7年度に保育所等の利用者のピークを迎えると国が想定していますので、今後の利用者数の変動を見ながら、適切な確保方策を図っていきます。

3 地域子ども・子育て支援事業

(1) 時間外保育事業（延長保育事業）

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所、認定こども園等で保育する事業

ア) 令和3年度の実施体制

私立保育園23園で実施
認定こども園5園で実施

イ) 実施状況

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度	1,519	1,519	1,297	▲ 222
令和3年度	1,466	1,466	1,286	▲ 180

(R3実績内訳)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
延べ利用者数	3,372	2,826	3,639	3,410	2,474	1,942	3,390	3,804
入所児童総数	3,122	3,187	3,216	3,254	3,279	3,300	3,322	3,323

月	12月	1月	2月	3月	合 計
延べ利用者数	3,761	2,785	2,657	3,587	37,647
入所児童総数	3,329	3,346	3,351	3,356	39,385

〔延長保育を利用した保護者の延長時間別の利用状況〕

区 分	割 合(%)
30分延長を利用	53.2
1時間延長を利用	33.2
1時間30分延長を利用	8.8
2時間以上延長を利用	4.7

ウ) 今後の方向性（実施状況における評価）

令和3年度における延長保育事業の利用数は、前年度に引き続き量の見込みを下回りました。実人数としては、昨年度に比べ微減となりましたが、延べ利用者数としては、約2割の増加となっています。

依然として利用数は多く、保護者の就労形態の多様化により、今後、利用数が増加する可能性もあることから今後も事業を継続していきます。

(2) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室等で放課後に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業

ア) 令和3年度の実施体制

全小学校区で実施（50施設）

イ) 実施状況

(人)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度	2,042	2,042	1,983	▲ 59
令和3年度	2,064	2,064	1,991	▲ 73

(学年別)

令和3年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
A 量の見込み	600	535	436	262	147	84
B 確保方策	600	535	436	262	147	84
C 利用数(実績)	594	520	423	260	136	58
D 差引(C-B)	▲ 6	▲ 15	▲ 13	▲ 2	▲ 11	▲ 26

(R3実績内訳)

小学校区	国府	庄野	加佐登	牧田	清和	石薬師	白子	鼓ヶ浦	旭が丘
クラブ数	1	1	1	2	2	1	1	1	4
利用者数	55	63	55	88	82	61	33	33	131
(地区児童数)	360	256	279	390	279	223	404	140	839

小学校区	桜島	愛宕	稲生	飯野	明生	河曲	一ノ宮	長太	箕田
クラブ数	3	2	4	3	1	2	2	2	1
利用者数	127	86	171	106	30	85	50	50	32
(地区児童数)	746	406	744	648	263	463	460	312	250

小学校区	若松	玉垣	神戸	合川	天名	栄	郡山	鈴西	椿
クラブ数	1	3	2	1	1	1	2	1	1
利用者数	46	115	121	33	24	51	95	43	23
(地区児童数)	254	806	607	82	86	177	204	197	114

小学校区	深伊沢	庄内	井田川	合 計
クラブ数	1	1	1	50
利用者数	41	42	19	1,991
(地区児童数)	147	83	143	10,362

※ 地区児童数は、令和3年5月1日現在の当該小学校区の児童総数

ウ) 今後の方向性（実施状況における評価）

令和3年4月に新1年生になる児童の保護者を対象に、利用希望調査を実施しました。早期に児童数を把握することで、既存の放課後児童クラブの拡充や増設により、待機児童の未然防止に努めました。

また、「量の確保」だけでなく、各施設における「質の改善」も含め、対応が必要と考えます。児童の安全・安心な生活を確保するため、放課後児童支援員のスキルアップに取り組むとともに、クラブ運営者と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にも努めます。

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について

児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業

ア) 令和3年度の実施体制

児童養護施設・乳児院

- ・鈴鹿里山学院（児童養護施設）
- ・里山学院（児童養護施設・乳児院）
- ・エスペランス四日市（児童養護施設・乳児院）
- ・ハピネス・ハーク(母子生活支援施設)

イ) 実施状況

(人日)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度	106	106	301	195
令和3年度	102	102	209	107

(R3実績内訳)

援 助 内 容	累計件数	割合
1 レスパイトケア	60	28.71%
2 冠婚葬祭	0	0.00%
3 就労等	75	35.89%
4 本人の疾病等	15	7.18%
5 出産	18	8.61%
6 その他	41	19.62%
合 計	209	100.0%

ウ) 今後の方向性（実施状況における評価）

今年度の実績は、見込み数を大きく上回る結果となりました。

今後も必要な家庭への啓発を行い、利用につなげます。

虐待の未然防止の側面もあることから、事業を継続していきます。

(4) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言
その他の援助を行う事業

ア) 令和3年度の実施体制

民間事業所・・・7施設
公共施設・・・2施設（子育て支援センターりんりん・ハーモニー）

イ) 実施状況

(人回)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-A)
令和2年度	105,000	12か所	58,290	▲ 46,710
令和3年度	107,000	12か所	57,288	▲ 49,712

(R3実績内訳)

民間事業所	A	B	C	D	E	F	G
延べ利用者数	2,572	4,369	25,234	1,315	1,965	5,924	2,253
民間事業所	合 計						
延べ利用者数	43,632						

公 共	りんりん	ハーモニー	合 計	総 合 計
延べ利用者数	11,089	2,567	13,656	57,288

事案別件数（民間事業所）

援 助 内 容	累計件数	割合
1 しつけ、教育に関する相談	1,197	46.67%
2 子育てに関する相談	1,045	40.74%
3 経済的な問題など生活環境上の相談	192	7.49%
4 児童福祉に関する相談	41	1.60%
5 その他	90	3.51%
合 計	2,565	100.0%

ウ) 今後の方向性（実施状況における評価）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設休館中に、行き場を失っていた子育て家庭を対象として
鈴鹿市公式YouTubeを活用し、家庭内で楽しめる手遊びなどを紹介する動画を配信しました。

また、感染拡大防止の観点から、オンラインによる交流・相談会の開催や利用定員の制限を行うなど
子育て世帯に寄り添った事業実施に努めるとともに、効果的な情報発信を積極的に推進します。

(5) 一時預かり事業(一般型・幼稚園型)

- 一般型・・・保育園等で主として保育園等に通っていない又は在籍していない乳幼児を対象に一時的に家庭での保育が困難な場合に一時的に預かる事業
- 幼稚園型・・・幼稚園又は認定こども園で、主として幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児で、教育時間の前後又は長期休業期間等に当該幼稚園等において一時的に預かる事業

ア) 令和3年度の実施体制

一般型・・・・・・公立保育所3園, 私立保育園7園, 認定こども園3園で実施

幼稚園型・・・認定こども園6園, 私立幼稚園6園(私学助成対象)で実施

イ) 実施状況

(人日)

一般型(その他)	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度(13園)	10,162	10,162	6,794	▲ 3,368
令和3年度(13園)	9,862	9,862	2,313	▲ 7,549

(R3実績内訳) ただし、自主的实施園を除く

私立保育園, 認定こども園	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	G施設	H施設
延べ利用者数	107	40	158	106	761	77	949	26
(実利用者数)	6	5	12	10	51	11	61	2

私立保育園, 認定こども園	I施設	J施設
延べ利用者数	59	30
(実利用者数)	6	2

私立保育園, 認定こども園	①合計
延べ利用者数	2,313
(実利用者数)	166

公立保育所	神戸保育所	河曲保育所	西条保育所	②合計
延べ利用者数	366	979	1,312	2,657
(実利用者数)	18	29	55	102

総 合 計 (①+②)	
延べ利用者数	4,970
(実利用者数)	268

実施状況(幼稚園型)

(人日)

幼稚園型	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度(11園)	24,132	24,132	30,545	6,413
令和3年度(12園)	22,992	22,992	30,929	7,937

(R3実績内訳)

私立幼稚園	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	合計
利用数	1,875	7,250	3,606	1,229	7,265	1,883	23,108

認定こども園	G施設	H施設	I施設	J施設	K施設	L施設	合計
利用数	332	4,476	1,353	10	1,635	15	7,821

ウ) 今後の方向性 (実施状況における評価)

令和3年度から定員を増加した保育園が1園あり、従来は一時預かりとして利用していた保護者が、保育園の利用へと切り替えたことから、一般型の延べ利用者数は前年に比べ大幅に減少しました。

幼稚園型については、昨年度に比べ更に増加しており、量の見込みを上回っています。

事業計画の中間見直しにおいて、量の見込みを再考し適切な確保方策を進める必要があります。

(6) ファミリー・サポート・センター事業

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業

ア) 令和3年度の実施体制

令和4年3月31日現在

会員数 〔 依頼会員 860人, 提供会員 207人, 両方会員50人 〕

イ) 実施状況

(人日)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度	3,539	3,539	2,656	▲ 883
令和3年度	3,426	3,426	3,186	▲ 240

(R3実績内訳)

援 助 内 容	累計件数	割合
1 保育施設の保育開始時や終了時の子どもの預かり	360	11.30%
2 保育施設等までの送迎	1,077	33.80%
3 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	100	3.14%
4 学校の放課後の子どもの預かり	30	0.94%
5 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	5	0.16%
6 買い物等外出の際の子どもの預かり	149	4.68%
7 その他	1,465	45.98%
基本事業 計	3,186	100.0%

ウ) 今後の方向性 (実施状況における評価)

本事業は、細やかな保育ニーズを充たすための事業で、令和2年度はコロナ禍の影響から利用者の減少が見受けられたが、令和3年度においては例年並みの利用があり、常に一定の需要があります。

今後も、そのニーズに対応できるよう会員養成に向けた取組を継続していきます。

(7) 乳幼児健康支援一時預かり事業(病児・病後児保育事業)

病児・病後児について、病院、保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業

ア) 令和3年度の実施体制

鈴鹿市病児保育室 (病児・病後児保育室ハピールーム)
鈴鹿市立西条保育所

イ) 実施状況

(人日)				
年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度	1,403	1,403	405	▲ 998
令和3年度	1,356	1,356	716	▲ 640

(R3実績内訳) 鈴鹿市病児保育室 (病児・病後児保育室ハピールーム)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用者数	56	51	118	141	48	23	40	51	31

月	1月	2月	3月	合 計
利用者数	26	22	30	637

(R3実績内訳) 鈴鹿市立西条保育所

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用者数	2	0	18	22	3	7	2	2	16

月	1月	2月	3月	合 計
利用者数	1	3	3	79

ウ) 今後の方向性 (実施状況における評価)

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響から、利用者は激減したものの、例年、感染症等の流行期には定員を超える利用申込があります。近年、両親の共働きや核家族化に伴い減少する見込みもないことから、現状を維持していきます。

(8) 妊婦健康診査事業

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業

ア) 令和3年度の実施体制

健康診査受診費用の一部公費負担により実施

イ) 実施状況

(人回)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度	18,313	18,313	16,716	▲ 1,597
令和3年度	17,988	17,988	17,315	▲ 673

(R3実績内訳)

妊娠届出数(対象者)	1,361
健診回数／人	約8回/人
実施場所	県内の医療機関等
検査項目	県及び医師会が定める健康診査内容

ウ) 今後の方向性 (実施状況における評価)

少子化により、妊娠届出数が減少しています。
妊娠中の健康管理を行うためには、妊婦健康診査を受診することは重要なため、受診勧奨に努めます。

(9) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業

ア) 令和3年度の実施体制

訪問者〔主任児童委員、保健師、助産師等〕により、必要な育児指導等を実施

イ) 実施状況

(人)

年度	A 量の見込み		B 確保方策		C 利用数(実績)		差引(C-B)	
令和2年度	1,473		1,473		1,393		▲ 80	
令和3年度	1,447		1,447		1,360		▲ 87	

(R3実績内訳)

小学校区	国府	明生	庄野	牧田	飯野	清和	加佐登	石薬師	井田川
対象者数	27	36	23	68	97	42	20	27	10
訪問件数	26	35	22	66	95	40	19	26	10

小学校区	鈴西	河曲	一ノ宮	神戸	長太	箕田	若松	玉垣	愛宕
対象者数	16	63	71	84	40	27	41	172	67
訪問件数	15	62	71	82	40	27	41	170	67

小学校区	旭が丘	稲生	桜島	白子	鼓ヶ浦	合川	天名	栄	郡山
対象者数	89	90	99	56	28	8	7	26	21
訪問件数	89	87	95	54	28	8	7	26	21

小学校区	椿	深伊沢	庄内	合 計
対象者数	8	17	6	1,386
訪問件数	8	17	6	1,360

ウ) 今後の方向性（実施状況における評価）

少子化により、対象者数が、減少していますが、R3年度の実施率は前年度より微増です。

出生数については、小学校区別の実績状況から、地域差が生じています。

引き続き、地域の中で子どもの健やかな育ちが支援できるよう、事業を継続していきます。

(10) 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことで、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業

ア) 令和3年度の実施体制

子ども家庭支援課所属の支援員が育児、家事の相談等を行うとともに、保健師や看護師が養育に関する相談・助言・指導(専門的相談支援)を実施

イ) 実施状況

(人)				
年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
令和2年度	664	664	862	198
令和3年度	671	671	863	192

(R3実績内訳)

養育支援内容	累計件数	割合
1 様子・近況確認	457	52.95%
2 家事援助	2	0.23%
3 子どもの相手	39	4.52%
4 育児援助	72	8.34%
5 母の話相手	11	1.27%
6 相談	206	23.87%
7 専門的相談支援	61	7.07%
8 その他	15	1.74%
合 計	863	100.0%

ウ) 今後の方向性 (実施状況における評価)

今後の社会情勢等から、養育困難家庭が増加することは容易に想定されるため、今後も事業を継続していきます。